

令和4年度初夏展

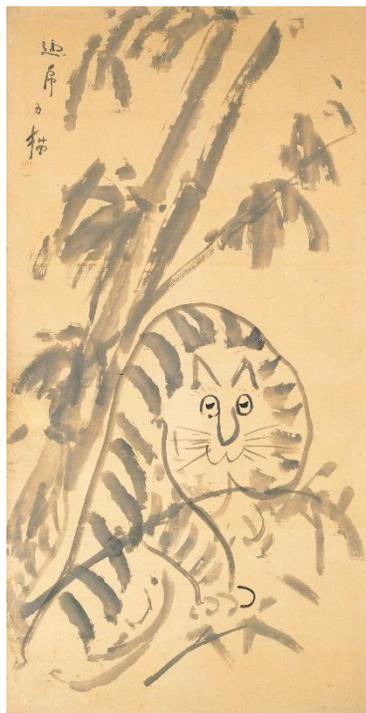
## 仙厓ワールド —また来て笑って！仙厓さんのZen Zen 禅画—

永青文庫

## 仙厓さんが6年ぶりに帰って来る！

江戸時代後期の禅僧・仙厓義梵<sup>せんがいぎぼん</sup>(1750～1837)は、ユーモアに富んだ書画を通して禅の教えを広く伝えたことで知られます。永青文庫には、設立者・細川護立<sup>もりたつ</sup>(細川家16代・1883～1970)が集めた仙厓の作品100点以上が所蔵されており、江戸時代中期の禅僧・白隠慧鶴<sup>はくいんえかく</sup>(1685～1768)の書画とともに当館の禅画コレクションの重要な柱となっています。その全容は、2016年の秋冬展「仙厓ワールド—来て見て笑って！仙厓さんのゆるカワ絵画—」において初めて公開され、話題を呼びました。

第2弾となる本展では、選りすぐりの仙厓作品に加え、兄弟子にあたる誠拙周禱<sup>せいせつしゅうちよ</sup>(1745～1820)など、仙厓周辺の禅僧による書画をあわせて展示し、これまでほとんど取り上げる機会のなかった知られざる禅画コレクションの一端を紹介します。さらに、禅画への理解と親しみを深めるため、画題を解説するコーナーを設けるほか、作品の人気投票も開催。仙厓が人々にやさしく説いた禅の世界をお楽しみください。



仙厓義梵「龍虎図」江戸時代後期(19世紀)【前期展示】

## ■ 開催概要

展覧会名: 令和4年度初夏展

## 仙厓ワールド —また来て笑って！仙厓さんのZen Zen 禅画—

会 期: 2022年5月21日(土)～7月18日(月・祝) ※前・後期で大幅な展示替をいたします。

[前期]5月21日(土)～6月19日(日) [後期]6月22日(水)～7月18日(月・祝)

※ご来館にあたって事前予約は必要ありませんが、混雑時はお待ちいただく場合がございます。

※マスク着用の上、ご来館ください。当館の新型コロナウイルス感染拡大予防対策については、ホームページをご覧ください。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、開館時間の変更または臨時休館となる場合がございます。

会 場: 永青文庫

開館時間: 10:00～16:30 (入館は16:00まで)

休 館 日: 毎週月曜日(ただし7/18 は開館)、6/21(火)

入 館 料: 一般1000円、シニア(70歳以上) 800円、大学・高校生500円

※中学生以下、障害者手帳をご提示の方及びその介助者(1名)は無料。

主 催: 永青文庫

特別協力: ホテル椿山荘東京



## 展示構成

### ようこそ仙厓ワールドへ

仙厓義梵(1750~1837)は40代後半頃から書画制作を始め、禅宗絵画の伝統的な画題を描いて研鑽を積みました。やがて62歳で聖福寺(福岡県福岡市)の住職を引退すると、次第に取り上げる画題の幅を広げ、73歳のときに「厓画無法(世の中の絵には法があるが、自分の絵には法がない)」を宣言。博多の人々と親しく交流しながら、明るく奔放な作品を次々と生み出し、88歳で遷化するまで書画を描き続けました。

ここでは、初期から晩年までの作品を展示し、見る者の笑いを誘い、やさしく禅の教えへと導く仙厓ワールドをたっぷりとお楽しみいただきます。あわせて兄弟子・誠拙周禱(1745~1820)をはじめ、仙厓周辺の禅僧たちによる書画も紹介します。



仙厓義梵「人形売り図」  
江戸時代後期(19世紀)  
【後期展示】

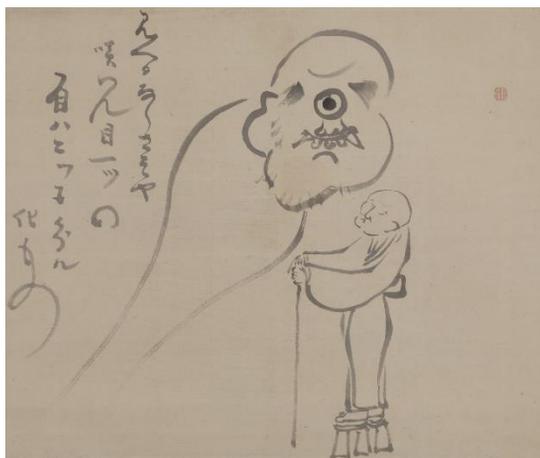


仙厓義梵「七福神図」  
江戸時代後期(19世紀)  
【前期展示】

#### 仙厓さんってどんな人??

寛延3年(1750)美濃国(現・岐阜県)生まれ。11歳の頃に得度し、義梵と名付けられました。武蔵国永田(現・神奈川県横浜市)東輝庵の月船禅慧に弟子入りして修行を積んだのち、諸国を行脚。40歳のときに聖福寺(福岡県福岡市)の第123世住職となり、20年以上にわたり同寺の復興と弟子の育成に努めました。住職を引退した62歳から本格的に書画を手がけ始め、73歳で「厓画無法」を標榜。幅広い画題を手がけ、書画の依頼が絶えなかったことから、83歳の時には「絶筆の碑」を建立しています。ところがかえって依頼が増えてしまい、結局、天保8年(1837)88歳で遷化するまで筆を折ることはありませんでした。

仙厓と誠拙は、ともに月船禅慧のもとで厳しい修行を積みました



誠拙周禱「一つ目小僧図」  
江戸時代後期(18世紀末~19世紀)

#### 仙厓さんの兄弟子・誠拙周禱

延享2年(1745)伊予国(現・愛媛県)宇和島生まれ。7歳のときに出家し、16歳で諸国行脚へ。20歳の頃、仙厓より4年ほど早く月船禅慧に弟子入りします。その後、月船らの推挙により円覚寺に入り、37歳のときに正統院僧堂の師家(修行僧の指導にあたる僧)に任ぜられ、衰微していた円覚寺の興隆に尽力。64歳で隠居をした後も、相国寺や天龍寺の大会で師家をつとめました。文政3年(1820)相国寺の僧堂開創に伴い上洛しますが、病に倒れ、同寺にて76歳で遷化しました。

## ようこそ禅画ワールドへ

「禅画」とは、江戸時代以降の禅僧が描いた絵画のことをいいます。その画題は、禅宗の始祖・達磨図、各宗派の重要な僧を描いた<sup>そし</sup>祖師図、禅の修行や悟りの瞬間などを絵にした<sup>ぜんぎ</sup>禅機図、釈迦図や観音図といった仏画、布袋をはじめとする福神図のほか、風景画、動物や植物を描いたもの、市井の人々を題材にしたものまで、実に様々です。特に白隠と仙厓は、幅広い画題を手がけており、バラエティーに富んだ禅画を数多くのこしています。本章では、白隠、仙厓、仙厓の兄弟子・誠拙周檮の作品を画題ごとに展示し、詳しく解説します。

### 祖師図



仙厓義梵「臨濟図」江戸時代後期(19世紀)

### 動物



仙厓義梵「虎図」江戸時代後期(19世紀)

### 風景画



仙厓義梵「都府楼図」文政10年(1827)【後期展示】

### 福神図



白隠慧鶴「布袋図」江戸時代中期(18世紀)【後期展示】

## 細川護立と禅画

永青文庫の設立者・細川護立(1883~1970)は、16歳の頃に肋膜炎を患い、療養中に白隠慧鶴の『夜船閑話』を読んだことをきっかけに、白隠作品を集め始めました。護立は自ら白隠ゆかりの地を巡りながら蒐集を進め、大正10年(1921)には自身の白隠コレクションを公開する展覧会を開催。翌年、主要な出品作140点余りをまとめた豪華な画集『白隠墨蹟』を刊行しています。護立の禅画蒐集は白隠のみにとどまらず、弟子の東嶺円慈や<sup>とうれいえんじ</sup>遂翁元盧、さらに仙厓義梵と<sup>せいせつしゅうちよ</sup>誠拙周檮など、近世禅僧の書画を幅広くコレクションしました。さらに書画とあわせて禅僧遺愛の品々も入手しており、本展では、仙厓の手がけた茶杓や誠拙旧蔵と伝える茶碗と水滴も紹介します。



細川護立(1883~1970)



白隠慧鶴『夜船閑話』  
明治19年(1886)復刻



『白隠墨蹟』  
大正11年(1922)



## 見どころ

### ◆好評を博した「仙厓ワールド」展の第2弾 6年ぶりに仙厓コレクションを公開

2016年に開催した「仙厓ワールド」展は、永青文庫の仙厓コレクション100点余りを4期に分けて一挙公開し、好評いただきました。6年ぶりの開催となる第2弾では、同コレクションより、初期から晩年まで、選りすぐりの仙厓作品を展示します。

### ◆仙厓・白隠だけじゃない！ 知られざる禅画コレクションを紹介

永青文庫には、設立者・細川護立が蒐集した膨大な禅画が所蔵されています。仙厓・白隠の禅画はよく知られるところですが、他にも様々な禅僧の書画をコレクションしています。今回は、仙厓の兄弟子・誠拙周樗をはじめ、仙厓周辺の禅僧に焦点をあて、調査を行いました。その成果をもとに、初公開作品を含む禅画を紹介します。

### ◆禅画って難しい?! 仙厓さんのゆるカワ絵画を通して 楽しく考える禅の教え

難解なイメージのある禅画ですが、仙厓のゆるくてカワイイ作品なら、誰でも禅の世界を楽しむことができます。本展では、禅画への理解と親しみを深めるため、画題を解説するコーナーを設けるほか、推しの禅画キャラを選んでいただく人気投票も行います。

つぶらな瞳に胸キュン

のんびり観音



## 関連企画

### ◇「仙厓ワールド」展×ホテル椿山荘東京 コラボレーションランチ《虎寿司御膳》

ホテル椿山荘東京内の日本料理 みゆきでは、仙厓の「虎図」をイメージした寿司御膳に展覧会チケットが付いたプランをご用意いたしました。美味しく食べて、禅画の世界を気軽に楽しみ、クスッと笑ってほっこりする。そんな癒しの一日を過ごしてみたいはいかがでしょうか。

期間：2022年5月21日(土)～7月18日(月・祝) 時間：11:30～14:30

料金：お食事+チケット付きプラン お一人様¥8,000、お食事のみ お一人様¥7,700

※税金・サービス料込

※3日前までのご予約制 ※永青文庫休館日はチケット付きプランの販売は無し

【ご予約・お問合せ】ホテル椿山荘東京 TEL:03-3943-5489



仙厓義梵「野雪隠図」  
江戸時代後期(19世紀)【後期展示】



仙厓義梵「鍾馗図」  
江戸時代後期(19世紀)【前期展示】



誠拙周樗「達磨図」  
文政元年(1818)【前期展示】



仙厓義梵「花見図」  
江戸時代後期(19世紀)【前期展示】

こんなキャラが  
登場予定

※掲載作品はすべて永青文庫蔵  
※表示がない作品は通期展示

### 【お問い合わせ】

公益財団法人 永青文庫  
〒112-0015  
東京都文京区目白台1-1-1  
TEL: 03-3941-0850  
FAX: 03-3943-0454



仙厓義梵「虎図」  
江戸時代後期(19世紀)



虎寿司御膳

※写真はイメージです

令和4年度初夏展「仙厓ワールドーまた来て笑って！仙厓さんのZen Zen 禅画ー」 広報画像申請書

2022年5月21日(土)～7月18日(月・祝)

【前期】5月21日(土)～6月19日(日) 【後期】6月22日(水)～7月18日(月・祝)

貴社名: \_\_\_\_\_ 媒体名: \_\_\_\_\_

ご担当者名: \_\_\_\_\_ ご所属: \_\_\_\_\_

TEL: \_\_\_\_\_ FAX: \_\_\_\_\_

ご住所: \_\_\_\_\_

E-mail: \_\_\_\_\_ 掲載予定日: \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

掲載概要:(コーナー名、画像の掲載サイズ など)

□読者プレゼント用チケット(5組10名様)ご希望の場合はチェックを付けてください。

※6月18日までにご紹介頂ける場合に限らせて頂きます。※チケットはゲラの確認後に送付いたします。

◆ご希望の写真番号に○を付けてください。



1. 仙厓義梵「龍虎図」  
江戸時代後期(19世紀)  
【前期展示】



2. 仙厓義梵「七福神図」  
江戸時代後期(19世紀)  
【前期展示】



3. 仙厓義梵「鐘馗図」  
江戸時代後期(19世紀)  
【前期展示】



4. 仙厓義梵「人形売り図」  
江戸時代後期(19世紀)  
【後期展示】



5. 仙厓義梵「虎図」  
江戸時代後期(19世紀)



6. 仙厓義梵「臨濟図」  
江戸時代後期(19世紀)



7. 仙厓義梵「野雪隠図」  
江戸時代後期(19世紀)  
【後期展示】



8. 誠拙周樗「一目小僧図」  
江戸時代後期(18世紀末～19世紀)

※すべて永青文庫蔵 ※表示がない作品は通期展示

【広報画像ご使用に際してのお願い】

※画像の使用は、本展覧会のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。貸与した画像は、使用後速やかに消去願います。

※展覧会名、会期、会場、作品名称、展示期間、所蔵者(永青文庫蔵)を必ずご掲載ください。

※掲載誌は1部ご惠贈願います。

【個人情報の取扱いについて】

※ご記入いただきました個人情報は、当館からの展覧会情報のご案内にのみに使用いたします。

許可なく第三者に個人情報を開示することはございません。